

シルバーカレッジの各地域交流会の活動をご紹介します

地元で地域活動しているグループからの報告です。

「箕谷会」による「子ども夏祭り」に支援参加



箕谷小学校（北区）において、7月30日に「子ども夏祭り」が盛大に開催され、地域の活力と

結びついた素晴らしいイベントが行われました。このイベントでは、木工のブースが設けられ、KSC 現役生や OB、そして木工グループの OB の皆さんが、熱心に支援を行いました。

小学校 1～4 年生を対象としたこのイベントでは、筆立て木工に挑戦し、板の張り合わせや釘打ちなど、50 人の子どもたちが楽しく学びを共有しました。

子どもたちからは「金づちが軽いものから重いものまであったので、面白かった」という笑顔のコメントが寄せられ、保護者からも「自分が金づち作業を体験していなかったので、子どもに教えていただいて、ありがたかった」と、感謝の言葉が多く聞かれました。

箕谷会は、9 人の会員が集い、地域の結びつきを深める活動を行っており、小学校の行事支援（運動会・音楽会など）を通じて地域社会に貢献しています。代表の芝義明さん（健福 28 期）は、「地元の小学校に通っていた自分の子どもたちが、地域の高齢者たちに支えられて成長したことに気付いた。だからこそ、シルバーカレッジに入って地域に恩返ししたいと思った。また、自分自身も『居場所づくり』の一環として地域活動が欠かせないと感じている」と述べられました。シルバーカレッジ（KSC）は、地域貢献の重要性を学びながら、積極的な体験を重ねる場として位置付けられています。芝さんは、「KSC は地域貢献の学び舎であり、カレッジ生には各地域で積極的に経験を積むことを奨励したい」と情熱的に語られました。

地域社会との協力が、子どもたちの成長と地域の活性化につながる素晴らしい取り組みとなっています。



「須磨落合花谷」学習支援の活動状況



地域交流会「須磨落合花谷」（会員 32 名）のグループでは、須磨区の南落合、東落合、花谷の小学校区を対象にした活動を行っています。

同会の副代表：中村洋一さん（健福 28 期）と同副代表：木村修さん（生環 29 期）に、地域交流会の活動内容や目標について語っていただきました。

地域交流会は、地域の小学校で行われる運動会、音楽会、授業参観などの行事を支援する役割を果たしており、同会では特に学習支援に力を注いでいます。4 月の地域交流会では、市内学校園からの依頼に基づき、会員たちはさまざまな活動に参加し、支援の手を差し伸べています。支援学級の児童 9 人には、先生 2 人と中村さん、木村さんはじめ、同会のメンバー、OB も交えて、ローテーションで活動に参加しています。

木村さんは、「当初、支援学級については知識が必要でハードルが高いと考えていました。しかし、先生のお話を聞いて、できる範囲での活動でハードルは高くないと実感しました。授業では、児童のそばで見守りを行い、時には辞書片手に漢字や割り算のサポートも行っています。これによって、自分の頭の体操や活性化に役立っていると感じています。この活動を誇りに思っています。」と述べられています。

一方、中村さんは、「学校園のボランティア活動は、シルバーカレッジの授業の一環として位置づけるべきです。地元の学校からの支援要請は、自分たちの子どもたちがお世話になった学校からのものであり、卒業後もグループを通じて継続して活動したいと考えています」と意気込みを語られました。

地域交流会「須磨落合花谷」は、学校と地域の連携を強化し、子どもたちの教育環境を支える重要な存在として、地域社会に貢献しています。

シルバーカレッジ現役生も参加しているグループわ の活動をご紹介します

地域活動・クラブ活動を通して、また個人でも気軽に・いつでも・手近に・楽しく参加できる活動です。

学習支援研修会を開催



7月18日、KSC 学習室 1・2 にて学習支援研修会が行われ、KSC の現役生とグループわ の会員を含む 40 名が参加し、神戸市教育委員会特別支援教育課指導主事の大谷芳樹先生による講演が行われました。

先生からは、「発達につまずきのある子を笑顔にするために」について分かりやすくお話いただき、支援先での笑顔を引き出すためのアプローチ方法などに、参加者はうなずきながら真剣に耳を傾けました。1 時間半の講義後は質疑応答が続き、時間が足りないほどの盛り上がりとなりました。

この学習支援研修会は、学習支援に関心を持つ方々にとって貴重な情報を提供するイベントで、参加者たちは、新たな知識を得ると共に、支援活動に対する熱意を一層高めることができました。今後も、このような機会を通じて地域の学習支援活動が一層発展していくことが期待されます。

夏休み工作塾にたくさんのおもちゃたちが参加



8月5日、しあわせの村 研修館にて夏休み工作塾を開催しました。夏休みの自由研究にもなることで多数の応募をいただき、抽選により参加された 173 人のおもちゃたちは、各教室でシルバーカレッジ現役生およびグループわ のメンバーに手伝ってもらいながら作品作りに挑戦しました。

工作は（ソーラーは1つ）3つの種類を選ぶことができるので、おもちゃたちはどれにしようか迷いながらも興味のある工作を選んで楽しんでいました。本部はオニヤンマくん作りで参加しました。今テレビなどでも話題の虫よけグッズのオニヤンマくんは大変人気があり行列ができました。おもちゃたちの笑顔から私たちもいっぱいパワーをもらいました。

工作内容と支援グループ：木工くるま [木工グループ]、

紙すきはがき [ケナフの会]、折染めうちわ [むかしあそび研究会]、折り紙うさぎバッグ [折り紙グループ悠々]、パクパク人形 [人形劇ゆめのつづき]、バーニングアート [花実の森]、オニヤンマくん [本部]、ソーラー箱プラネタリウム [創エネ神戸]



1 年生共通授業として「グループわ の紹介」



7月5日、KSC1 年生（30 期）向けに、「グループわ の活動」についての授業・講義の場をいただきました。

1 部では、グループわ の成り立ち・組織の説明と、子どもさん向けイベント活動、障がい者向けのユニバーサルカレッジなど、KSC 学生・わ会員が一緒に活動している事例として、写真・動画を紹介しました。

2 部は、グループわ の各部会の中から、楽遊クラブ銀雅、太極拳ゆったり体操、KSC 男声合唱団の演奏・パフォーマンスの披露、3 部では、学習支援・学校園ボランティア、戦争の語り部、区会活動と地域交流会の現状の活動状況についてお話ししました。



受講された 1 年生からは、「いろいろなグループが社会貢献していることを知った」「活動することで自身の健康維持にもつながっていることを理解」「卒業後は一緒に活動したい」などの感想をいただきました。一緒に活動できる日をお待ちしています。